

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート ( 金融庁 )

<b>事業名</b>	金融グローバル戦略の確立のために必要な経費			<b>担当部局</b>	総合政策局	<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	令和4年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	令和4年度	<b>担当課室</b>	総務課国際室	永山 玲奈	
<b>会計区分</b>	一般会計						
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)				<b>関係する計画、通知等</b>	「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」(令和4年10月28日閣議決定) 「フォローアップ」(2022年6月7日閣議決定)		
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費		
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	現下の急激なマクロ経済環境の変化等を踏まえた、金融グローバル戦略の検討に必要な調査を実施することにより、業界への知見提供や国際的議論への戦略的対応に繋げ、グローバル企業を支える金融の強化と国際競争力向上を図る。						
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	我が国の金融グローバル戦略を検討するに当たり、必要な調査研究(市場分析、課題やニーズの特定、対応の方向性の提示等)を実施する。その際、金融機関、アカデミア、産業界等、外部の幅広い知見を取り入れる。						
<b>実施方法</b>	委託・請負						
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	<b>予算の状況</b>	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	/
		補正予算	-	-	-	18	
		令和4年度第2次補正予算	-	-	-	18	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	
		計	0	0	0	18	
	執行額	0	0	0			
	執行率(%)	-	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-			
<b>令和4年度第2次補正予算内訳</b> (単位:百万円)	<b>歳出予算目</b>	令和4年度第2次補正予算	<b>主な増減理由</b>				
	諸謝金	18					
	計	18					

活動内容 (アクティビティ)		金融機関、アカデミア、産業界等、外部の幅広い知見を取り入れながら、我が国金融のグローバル戦略を検討するに当たり必要な調査研究を実施する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	我が国金融のグローバル戦略を検討すること。	調査の実施件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	1	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額(X)／調査研究の実施件数(Y)			単位当たりコスト	千円	-	-	-	18,000	
				計算式	千円/件	-	-	-	18,000/1	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
	調査を実施する事業のため、定量的な成果目標の設定は困難である。				調査内容をまとめた報告書を作成・公表することで、金融業界に有意義なインプットを提供するとともに、グローバルに活動する企業を支える金融機能の強化や我が国金融の国際競争力の強化につなげる。(令和元年～令和3年度は予算措置無し。)					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
	調査内容をまとめた報告書を作成・公表することで、金融業界に有意義なインプットを提供するとともに、グローバルに活動する企業を支える金融機能の強化や我が国金融の国際競争力の強化につなげること。	報告書の作成及び公表	実績	件	-	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	1	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	横断的施策－3								
	施策	その他の横断的施策	政策評価書 URL	-						
			該当箇所	-						
新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-							
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-							
		該当箇所	-							

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、現下の急激なマクロ経済環境の変化や地政学的リスクの高まりを踏まえ、我が国金融のグローバル戦略の検討に必要な調査研究を実施し、報告書を作成・公表することで、金融業界に有意義なインプットを提供するほか、我が国の金融行政や金融市場の国際的な存在感を高めることに資することから、国民や社会のニーズを的確に反映していると考えられる。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、我が国の金融分野全般の機能強化・競争力強化を図るために必要であり、その性質上、国が実施すべき事業であることから、地方自治体、民間等に委ねることができないと考えられる。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	我が国金融の大局的なグローバル戦略の検討に当たり必要な調査を実施し、金融業界に有意義なインプットを提供するとともに、グローバルに活動する企業を支える金融機能や我が国金融の国際競争力を強化するために必要かつ適切な事業である。また、現下の急激なマクロ経済環境の変化や地政学的リスクの高まりを踏まえると、政策体系の中で優先度の高い事業であると考えられる。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	

備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成30年度	-	-	-	-	-	
令和元年度						
令和2年度						
令和3年度						
<b>資金の流れ</b> (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。					
	<pre>           graph LR             A[金融庁] -- "諸謝金 (18百万円)" --&gt; B[民間事業者]           </pre>					
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
<b>費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載</b>						
					チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	